

## 平成18年度採択評価結果（平成18年9月）

[ 研究開発課題名 ] 従業員の健康情報のセキュアな管理と活用を実現する高次HRMシステムの研究開発

[ 委託機関名 ] 株式会社サイエンティア

点数	合計点数	総合所見
技術評価	39	<p>（技術：研究を成功させるためのポイント、その他特記事項等についての総合的な所見）</p> <p>当社の開発した技術基盤の中で、特に人事管理システムの中の個人評価方式及び個人機密情報へのアクセス技術は新規性が高い。また、健康管理に関する研究開発と人事管理システムの統合技術は新規性が高く、基盤技術性は妥当であるといえる。今後の新しい人事システムとして、ビジネスの可能性は十分期待できる。</p>
事業化評価	34	<p>（事業化：事業化のシナリオ、波及効果の見込、収益の可能性等に関する総合的な所見）</p> <p>事業シナリオ 研究開発初期に具体的な事業展開戦略を固めることが望まれる。</p> <p>波及効果 多くの企業では、従業員の福利厚生対策として、アスレチッククラブや、健康施設との個別法人契約等をおこなっている。これに、従業員の生産性向上対策としての連携が図られる等が実現できれば、これら市場に対しても大きな波及効果が期待できる。</p> <p>収益の可能性 健康情報は個人情報に直結し、また、個人の私的行動についてまで企業による管理を推進することは、社会的ニーズが高くて、従業員によるコンセンサスが必要となる事項であり、導入に躊躇することも予想される。従業員の個人情報を自身に限り適切に管理する手法（会社側に提供する情報を制限する等）と併せてソリューションが適用できれば、より導入が促進されることが考えられる。</p>

（注）総合所見の公表にあたっては、企業秘密等に配慮しています。